

認知症の程度とサービス（支援）の流れ
（認知症ケアパス）

認知症の約6割を占めるアルツハイマー型認知症の
各サービスの詳細や関係機関の連絡先については、

場合の症状の変化とそれに合わせた、サポートの体制についてまとめました。
9ページの認知症初期集中支援チームや担当の地域包括支援センターへご確認ください。

認知症の進行に応じた変化	健康	あれ？物忘れかな	そろそろ誰かの見守りが必要	日常生活に手助けが必要	常に手助けが必要	
本人の様子  <p>日ごろから、本人・家族・支援者などの周りの方と、今後のことを話し合っておきましょう</p>	<p>何となくおかしいと感じて不安になる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●忘れっぽくなる ●同じことを繰り返し聞く ●約束の時間を間違える ●整理整頓が苦手になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●お礼で支払うことが多くなる ●物をなくすことが多くなる ●薬を飲み忘れる ●調理の段取りが難しくなる ●お金の管理が苦手になる 	<ul style="list-style-type: none"> ●薬が正しく飲めなくなる ●たびたび道に迷う ●季節はずれの服装をしている ●テレビやエアコンのリモコンが使えなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●日付や季節が分からなくなる ●帰り道が分からなくなる ●洋服の着方が分からない ●身だしなみが気にならなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●食事や着替え、トイレなど日常生活に常に介助が必要になる ●会話や意思疎通ができなくなる ●歩行が困難になる 
家族の気持ちと対応	<p>もしかして認知症・・・？と感じ始める ⇒早めにかかりつけ医に相談しましょう</p>	<p>介護者家族の会や勉強会に参加する いろいろな情報が得られます</p>	<p>悩みを打ち明けられず、一人で悩んでしまいがち ⇒一人で悩まず、相談しましょう 家族が病気を正しく理解することが大切</p>	<p>失敗することが増え、介護者の負担が大きくなる ⇒介護サービスなどを利用し、休息の時間を作ることも大切</p>	<p>最期の過ごし方や看取りが心配 ⇒主治医、医療・介護スタッフと相談しながら、本人の想いを大切にしましょう</p>	
予 防	ボランティア活動 百歳体操 なにわ元気塾 老人クラブ		サークル活動 ふれあい喫茶 食事サービス 認知症カフェ 介護者家族の会			
相 談	旭区役所・保健福祉センター 認知症初期集中支援チーム		地域包括支援センター			
医 療	かかりつけ医		認知症サポート医		認知症疾患医療センター	
	認知症初期集中支援チーム		訪問看護	訪問薬剤師	訪問診療 訪問歯科診療	
介 護	介護保険申請の相談		介護認定の取得		介護サービスの利用 家族の介護疲労の軽減	
	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）		訪問介護 デイサービス デイケア 訪問リハビリ			
	 <p>介護保険サービスを上手に利用しましょう</p>		ショートステイ 小規模多機能型居宅介護施設			
生活支援	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	旭区見守り	ネットワーク強化事業	警察署 消防署	
	日常生活自立支援事業（あんしんさぼーと）		成年後見制度			
住 ま い	必要に応じて、 自宅以外の生活場所を検討 しましょう			認知症グループホーム	介護老人保健施設 特別養護老人ホーム サービス付き高齢者向け住宅 介護付き有料老人ホーム	

認知症の人や家族を支援する体制